

# 平成22年度学校経営計画表

## 1 学校の現状

学校番号	44		学校名	県立玉造工業高等学校				課程	全日制		学校長名	平 沼 栄				
教頭名	黒 川 喜久雄								事務長名	埴 明 秀						
教職員数	教諭	38	養護教諭	1	常勤講師	12	非常勤講師	4	実習教諭 実習講師 実習助手	9	事務職員	4	技術職員等	3	計	74
生徒数	小学校	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	工業に関する学科	175	21							175	21	5				
	機械科			73	2	58	2			131	4	4				
	システム工学科			15	6	20	6			35	12	2				
	電気科			39	1	40	0			79	1	2				
情報技術科			25	10	7	9			32	19	2					

## 2 目指す学校像

至誠・勤勉・協和の校訓を基本に、現代社会における工業の果たす役割を理解させ、適切な技能及び技術を習得させる。また、すぐれた個性の伸長と豊かな人間性の育成に努め、社会の発展に寄与する産業人を育成する。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
教 務	<p>中学時までの基本的な学習が身に付いていない生徒が多い。習熟度別授業やTT授業、HR小テストなどを実施しているが、基礎学力の向上にはなかなか結びついていない。さらに学習意欲が低く、家庭学習の習慣がないことから、定期考査における成績不振者の割合が30%を超えることもある。よって、資格取得に積極的に取り組む生徒もいる反面、資格取得の意欲の全くない生徒もみられる。「括り募集」も5年目になり、共通履修や選択授業等の展開は定着しつつある。しかし、生徒の基礎力を伸ばすための指導内容や方法、指導計画は不十分であると思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な学習の「学び直し」や学習意欲を向上させるための「わかる授業」の展開が必要である。</li> <li>・生徒のあらゆる学習活動の場において、少しでも伸びるための指導方法を工夫することが必要である。</li> <li>・学習の習慣化を通して、学習の定着や自ら学ぶ意欲の育成を図ることが必要である。</li> <li>・選択科目等を含めた教育課程の見直しが必要である。</li> </ul>
生 徒 指 導	<p>特別指導件数は平成20年度から減少傾向にある。しかし、指導内容は「反道徳問題行動」「喫煙」「交通関係」の指導が多くなっている。また、交通講話後の生徒意識の低さが目立ち、交通死亡事故も発生した。「遅刻指導」「服装・頭髪指導」についても減少傾向であるが、基本的生活習慣、規範意識が身に付いていない生徒が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全・安心・楽しい」学校づくりを継続し、基本的生活習慣・規範意識の確立を目指す指導を行う。</li> <li>・交通安全教育を充実させる。</li> </ul>
進 路 指 導	<p>経済状況の急激な好転は望めず、求人数の増加は期待できない。技術職の求人は技術の伝承の必要性からある程度は確保できるものと思われるが、技能職の求人は依然少ないものと予測される。企業を訪問し求人の要請をしてもなかなか求人数の増加には至らない。さらに、就職に対する危機感を感じている生徒も少なく、また、基礎学力の不足もあり内定内定に至らない生徒が多い。 大学進学は17年度23名と多かったが、18年度8名となり、その後19年度14名、20年度18名、21年度12名と徐々に減少傾向にある。家庭の経済状況の影響も大きい。進学・学習意欲が低い生徒が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職に対する危機意識を持たせ、職業選択能力の向上を図る。</li> <li>・企業訪問を実施し、求人開拓を行う。</li> <li>・就職試験の合格率の向上を図る。</li> <li>・進学希望生徒の学習意欲を向上させる。</li> <li>・指定校推薦枠の開拓を行う。</li> </ul>
学 習 指 導	<p>四則演算や小学校で学習する漢字の定着がみられないなど、基礎基本が身につけていない生徒がいる中で、朝のSHR15分間の中で行うドリルでは基礎学力の向上の効果が薄い。 平成21年度の図書館来館者数165人である。図書館の引越しに伴い、開館時期が約6ヶ月しかなかった影響は否めない。本館に移動してからは、生徒の利用が増えている。 進学課外への参加者が少ない。資格取得講座の7時間目については積極的な参加者が多くみられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の学習、読書の時間の有効活用。図書資料の貸し出しにもつなげる。</li> <li>・各学年で行っている「確認テスト」を有効に活用し、基礎基本の定着につなげる。</li> <li>・図書館が昼休みと放課後に常に開館している状況をつくる。</li> <li>・生徒向け図書が増加並びにミニ館報などを用い、お薦めの本の紹介に努める。</li> <li>・生徒に対して、進学課外ならびに資格取得講座を積極的にアピールする。</li> </ul>
保 健 厚 生	<p>ゴミの分別についてはかなり改善されたが、校舎内外において、安易にゴミを捨てる傾向がみられる。また、清掃方法や用具の使い方を知らない生徒が多い。 また、健康的な生活習慣を守ることが出来ないため、安易に保健室利用する生徒が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員、全生徒に対し、環境に対する意識の向上を図る。</li> <li>・清掃用具を充実させ、校内美化に努める。</li> <li>・健全な生活習慣の意識の向上を図る。</li> <li>・保健室の適正な利用方法を理解させる。</li> </ul>
渉 外	<p>PTA総会への出席率が20%以下と低いのが現状である。そこで、PTAの球技大会や研修会等を企画し、交流を深めている。また、生徒の通学安全の確保を保つために定期的（月1回）に朝夕のマナーアップ立哨活動を実施している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事への出席率をより高める。</li> <li>・PTA行事を通して保護者と教職員のコミュニケーションを深める。</li> </ul>
特 別 活 動	<p>部活動加入率は低下傾向にあるが、1年生の部活動加入が多くみられた。 継続率を上げ、部活動加入率の低下傾向に歯止めをかけるとともに、新1年生の積極的な部活動加入を継続的に呼びかける。 各種行事に参加する生徒の前向きな姿勢が見られた。 地域との交流事業を行ったが、十分な広報効果が得られなかった。より積極的に取り組むとともに、広報活動を充実させることが必要であると思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種行事の充実に努める。</li> <li>・部活動の参加率を増加させる。</li> <li>・奉仕活動への参加の機会を増やす。</li> </ul>

#### 4 中期的目標

- ・基礎学力の向上を図る。
- ・基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図る。
- ・進路指導の充実を図る。
- ・部活動や特別活動を充実させる。
- ・地域と連携を図り、開かれた学校づくりに努める。

#### 5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
分かる授業を展開し、基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の実態に応じ、学習内容を精選して基礎学力の向上を図る。</li> <li>② 各教科内で研修を充実させ、分かる授業の展開を目指すとともに教科間の連携を図る。</li> <li>③ 朝の学習の時間を通じ、基礎学力の向上を図る。</li> <li>④ 7時間目の内容を充実させ、資格取得者の増加と進学希望者への対応を図る。習熟度別及びTTの授業の充実を図る。</li> </ul>
基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図るとともに、交通安全教育の推進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 挨拶の励行や遅刻・早退・欠席の減少に努める。</li> <li>⑥ 頭髪や服装等を正そうとする意識を身につけさせる。</li> <li>⑦ 社会人として必要な公共のマナーを身につけさせる。</li> <li>⑧ 保護者や関係機関との連携を密にとり、生徒の安全確保に努める。</li> <li>⑨ 交通安全教育を推進し、交通安全に対する意識の向上を図る。</li> </ul>
望ましい勤労観や職業観の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩ 進路に対する意識の向上を図り、希望進路の実現を図る。</li> <li>⑪ 企業及び大学等の情報を広く収集し、進路選択に役立たせる。</li> </ul>
学校行事の充実ならびに、部活動及び奉仕体験活動の活発化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑫ 学校行事を通して生徒と保護者や地域との交流を図り、より充実感や達成感のあるものにする。</li> <li>⑬ 部活動加入率を高め、活性化を図る。</li> <li>⑭ 奉仕体験活動を充実させる。</li> <li>⑮ 生徒の委員会活動を活発にする。</li> </ul>
中学校や地域と連携を図り、開かれた学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑯ 近隣中学校並びに地域への広報活動を充実させる。</li> <li>⑰ 生徒・保護者及び教職員の信頼関係を深める。</li> <li>⑱ 個人情報の保護、管理の徹底に努める。</li> </ul>